

## 一括交付金の活用事例 (県の自主的な選択により事業が実施できるよう国が財政支援)

### 1 ソフト交付金を活用した事業例

#### 農林水産物流通条件不利性解消事業

沖縄県が本土市場から遠隔地であることによる不利性を解消し、本土での市場競争力の向上や出荷量の拡大を図るため、直近他県までの輸送コスト相当額を補助しています。



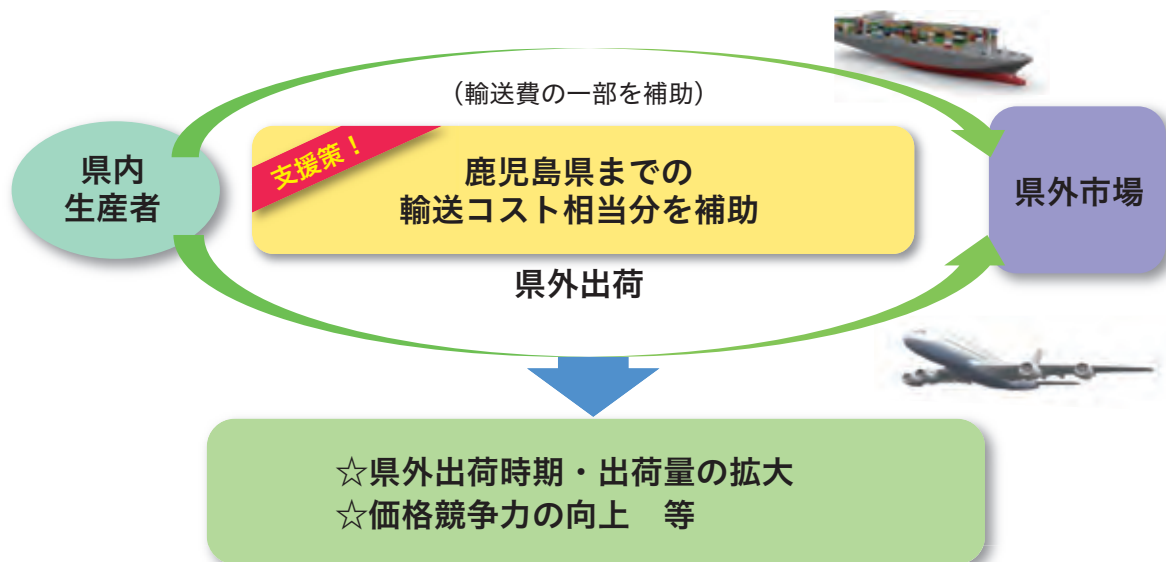
ゴーヤー



マンゴー



クルマエビ



#### 離島児童生徒支援センター (愛称：むるぶしりょう 群星寮) 整備事業

高校のない離島出身者の経済的負担の軽減を図るため、高校進学する生徒の寄宿舎と交流機能を併せ持つ施設を整備しました。



## 一括交付金の活用事例 (県の自主的な選択により事業が実施できるよう国が財政支援)

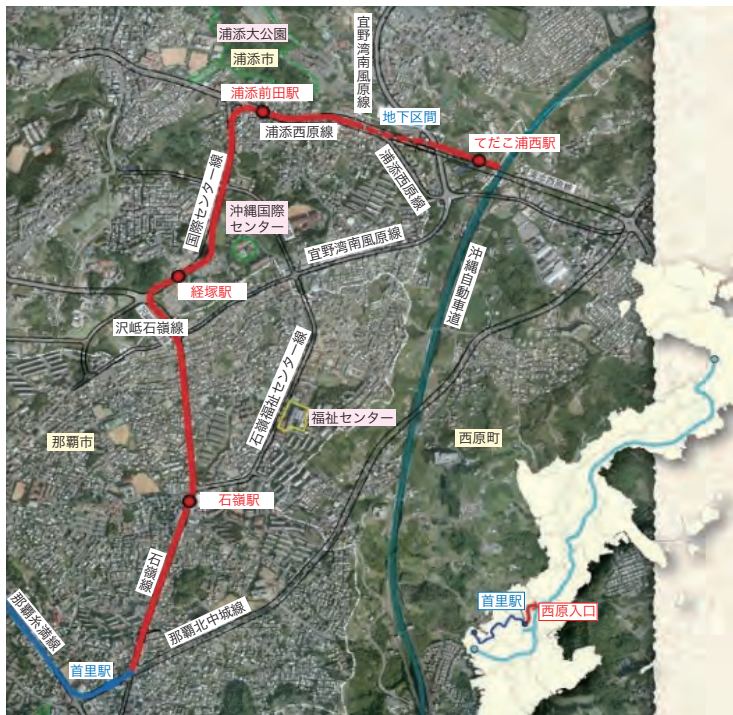
### 2 ハード交付金を活用した事業例

#### 沖縄都市モノレール延長整備事業

交通渋滞を緩和し、健全な都市機能の維持・発展を図るため、モノレールの延長整備に対して県は予算の優先的な配分を行っています。

これにより、沿線の開発を促進し、交通結節点を強化することで利便性の高い公共交通ネットワークの構築に寄与することを目指しています。

##### 延長ルート



(平成31年春 開業予定)

##### ただこ浦西駅 完成予定図



建設区間: 首里駅～ただこ浦西駅  
路線延長: 約4.1km

#### 県立八重山病院 (医療施設等施設整備事業)

施設の老朽化が著しく、また敷地が狭隘なため十分な医療機能の提供が困難となっている県立八重山病院の新築移転のため、県は所要の予算を平成 27 年度から配分しています。

これにより、医療提供確保や医療環境等の向上を図り、離島における定住条件の整備に寄与することを目指しています。



完成イメージ図  
(平成29年度供用開始予定)